

西
久
保

八
幡
通
信



謹賀新年



明けましておめでとうございます。日頃より当八幡神社の諸般につきましては種々ご高配にあずかり誠にありがとうございます。

さて、本年平成二十九年は丁酉（ひのと・とり）の年となります。

「丁（ひのと・てい）」は十干の四番目に当たり、火の陰で夏を示すことから草木が育ち芽が伸びていく様を表し、また釘を形取ったもので、まつすぐ安定するという意味です。

「酉（ゆう・とり）」は十二支の十番目です。酉の方角は秋を示し、酉の月は酒造りの季節に当たることからもと口（くち）の細い酒壺を描いた「酉」の字が充てられました。そして果実などが「実る」ということも表しています。丁酉の年は

昨年の成果がより大きく確実なものと

のとなつていく年とされています。

また、酉には動物の鶏が充てられています。鶏は夜明けの時を告げ、不安な闇を取り払い、夢や希望に満ちた新たな一日を呼ぶとても縁起のいい生き物です。この丁酉の一年が明るく豊かな年となることを願う次第です。

本年八月の例大祭におきまして、戦後初めてとなります御本社神輿の神幸祭を執り行うこととなりました。氏子崇敬者の皆様には何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

末筆ながら我が国の安寧と発展として氏子崇敬者の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、簡単ではございますが、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成二十九年 一月

御本社神輿神幸祭のお知らせ

本年八月十一日（金・山の日）、御本社神輿神幸祭を執り行います。詳細につきましては追つてお知らせをいたしますが、氏子崇敬者の皆様にはご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

御本社神輿の神幸祭（渡御）とは、普段神社にお鎮まりの大神の御分霊を御本社神輿にお遷りいただきお社を離れて氏子町会を練り歩く祭儀です。氏子の皆様の身近に御分霊が巡り、氏子地域の安寧と氏子の皆様方のご健勝・ご発展をご祈念する重要なお祭りです。

当八幡神社の御本社神輿は昭和二十年三月の空襲により残念ながら焼失してしまいましたが、戦後七十年の節目となる平成二十七年、氏子崇敬者の皆様の多大なるお力添えにより復興がなされ、同七月二十日に御本社神輿の御神霊の分祀祭並びに復興の奉告祭が執り行われました。

当社の神幸祭は江戸の頃より執

り行われていました。天保九年（一八三九）刊の「東都歳時記」には「西ノ久保八幡宮 別當普門院 毎年神輿産子の町を渡し、西久保大通りへ御旅所を儲けて十三日より御旅出あり。」と記されています。また旧御本社神輿はその大きき故牛車で神幸祭が執り行われていましたが、戦争により中断され、戦禍の拡大する中焼夷弾が神輿庫を直撃するという憂き目に遭いました。

戦後、氏子地域は目覚ましい復興を遂げ、今も目まぐるしく成長し続けています。途絶えて久しい神幸祭の復活は、地域の伝統復活の一つに過ぎませんが、新たな時代に御神威の発揚を期して氏子の連帯・連携をより一層深め新たな伝統を築きそして継承していくことが、今後の更なる氏子の発展へとつながるものと信ずるところでございます。

本年の神幸祭斎行にあたり、何卒皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



復興奉告祭（平成27年7月20日）

神社周辺史跡巡り

西久保八幡神社の周辺には数々の史跡があります。今回はそのいくつかをご紹介します。

義士洗足の井戸

港区虎ノ門二九十六

旧暦元禄十五年十二月二十四日（一七〇三・一・三〇）、大石内蔵助以下四十七人の吉良邸に侵入し吉良上野介を討ち取った後、主君浅野内匠頭の墓前に報告のため泉岳寺に向かう途中、吉田忠左



衛門と富森助右衛門の両名を大目付仙石伯耆守邸に自首させました。その際二人が足を洗った場所です。

乃木將軍縁故の地

港区虎ノ門一二十二二十五

日露戦争の旅順攻囲戦の指揮を執り、明治天皇崩御後殉死したことも有名な乃木希典は生まれも六本木で港区には大變縁の深い人物ですが、この地は明治十一年（一八七八）から一年あまりを過ごしたところです。短期間でした



が結婚と長男誕生という転機を迎えた地です。

旧紀州徳川家屋敷跡

港区麻布台一五十五

旧上杉家中屋敷麻布邸跡であり、徳川御三家の一つの旧紀州和歌山藩主徳川家が明治維新後、麹町や赤坂の拝領屋敷を政府に返納し、屋敷を構えた場所です。英国留学経験のある第十五代当主徳川頼倫は、わが国最初の私立図書館である南葵文庫を設立し、また「音楽



の殿様」と呼ばれた第十六代当主徳川頼貞は、本格的な音楽ホールとしてはわが国最初となる南葵楽堂や、音楽関係資料を集積した南葵音楽文庫をこの地に開設しました。

島崎藤村旧居跡

港区麻布台三十四十七

詩人・小説家島崎藤村が大正七年（一九一八）から昭和十一年（一九三六）、七十一年の生涯のうち四十七歳から六十五歳までの十八年間に過ごした地です。「初恋」などを収めた詩集「若菜集」や小説「破壊」など数々の作品があります。「飯倉だより」や長



編小説「夜明け前」はこの地で書かれました。

百年の出来事・百年生まれの有名な人

平成十七年（二〇〇五）

ブッシュ米大統領二期目就任
中部国際空港開港

愛知万博「愛・地球博」が開幕
スマトラ島沖地震発生

モナコ大公レーニエ三世死去
ローマ教皇ベネディクト十六世誕生

平成五年（一九九三）

クリントン米大統領就任
オールドリー・ヘプバーン死去

皇太子と小和田雅子結婚の儀
欧州連合（EU）発足

《誕生》きやりーばみゅばみゅ・西内まりや・武井咲

昭和五十六年（一九八二）

レーガン米大統領就任
レーガン米大統領銃撃事件

スペースシャトル初打ち上げ
ミッテラン仏大統領就任

エイズの発見
仏高速鉄道TGV運行開始

《誕生》要潤・和田毅・奥田恵梨華・新垣仁絵・岩隈久志・松井大輔・川崎宗則・柴咲コウ・飯田圭織・安倍

なつみ・前田遼一・六代目中村勘九郎・尾野真千子

昭和四十四年（一九六九）

東大安田講堂事件

NHK FM本放送開始

東名高速道路全区間開通

アポロ11号が初の月面有人着陸

金田正一投手が四百勝達成

大菩薩峠事件

《誕生》吉田栄作・福山雅治・武豊・

的場耕司・森高千里・加藤浩次・H

IRO・シュテフィグラフ・橋下

徹・後藤田正純・東幹久・伊藤みどり・渡辺美奈代・山瀬まみ・石田ゆり子・及川光博・堀内健・大黒摩季・東貴博

《誕生》きやりーばみゅばみゅ・西内まりや・武井咲

昭和三十二年（一九五七）

日本の越冬隊が南極大陸初上陸
岸信介内閣成立

コカ・コーラ日本で販売開始

初の五千円紙幣発行

長嶋茂雄巨人軍入団決定

百円硬貨発行

《誕生》秋野暢子・柴門ふみ・段田安則・石破茂・ラモス瑠偉・かたせ

梨乃・山下泰裕・大竹しのぶ・戸田恵子・東国原英夫・天童よしみ・中嶋常幸・岡田彰布・夏目雅子

《誕生》きやりーばみゅばみゅ・西内まりや・武井咲

《誕生》きやりーばみゅばみゅ・西内まりや・武井咲

昭和二十年（一九四五）

ソ連軍がワルシャワを占領
ルーズベルト米大統領四期目開始
ソ連軍アウシュヴィッツ解放
ヤルタ会談

米軍マニラ占領

米軍沖繩本島上陸

鈴木貫太郎内閣成立

ルーズベルト米大統領急逝

トルーマン大統領に昇格

独総統ヒトラー自殺

ベルリン陥落

米軍沖繩占領

広島に原爆投下

ソ連が日本に宣戦布告

長崎に原爆投下

ポツダム宣言受諾

マッカーサー連合国最高司令官就任

玉音放送

満州国皇帝愛新覺羅溥儀退位

シベリア抑留

マッカーサー厚木飛行場到着

戦艦ミズーリで降伏文書調印

ソ連軍北方領土を占領

神道指令

《誕生》松原智恵子・ボブマリー・逸見政孝・谷垣禎一・吉永小百合・ロドリゴドゥテルテ・エリック・ク

ラプトン・阿木燿子・松島トモ子・黒鉄ヒロシ・タモリ・フランツ・ベッ

ケンバウアー・水前寺清子・樋口久子・櫻井よしこ

昭和八年（一九三三）

ヒトラー独首相就任

三陸地方大地震

ルーズベルト米大統領就任

皇太子明仁親王（今上天皇）誕生

《誕生》渡辺貞夫・オノ・ヨーコ・浅利慶太・永六輔・扇千景・伊丹十三

金田正一・黒柳徹子・大山のぶ代・草笛光子・渡辺淳一・藤子F不二雄・穴戸錠

雄・穴戸錠

大正十年（一九二一）

ハーディング米大統領就任

日本メートル法公布

シャネルの香水「No.5」発売

上海で中国共産党創立大会

原敬暗殺事件

高橋是清内閣成立

皇太子裕仁親王摂政就任

《誕生》土井勝・盛田昭夫・由利徹・イブモンタン・チャールズ・ブロン

《誕生》きやりーばみゅばみゅ・西内まりや・武井咲

ソン

明治四十二年（一九〇九）

タフト米大統領就任

ジャンヌダルク列福味の素発売

両国国技館落成

代々木練兵場設置

伊藤博文暗殺

米海軍真珠湾に基地建設

《誕生》水原茂・淀川長治・太宰治・土門拳・上原謙・小森和子・田中絹代

明治三十年（一八九七）

京都帝国大学創立

日本勧業銀行創立

金本位制実施

《誕生》イレース・ジョリオリ・キユー・リー・大佛次郎

平成29年の厄年

	前 厄	本 厄	後 厄
男 性	24才（戌） 平成6年生	25才（酉） 平成5年生	26才（申） 平成4年生
	41才（巳） 昭和52年生	42才（辰） 昭和51年生	43才（卯） 昭和50年生
	60才（戌） 昭和33年生	61才（酉） 昭和32年生	62才（申） 昭和31年生
女 性	18才（辰） 平成12年生	19才（卯） 平成11年生	20才（寅） 平成10年生
	32才（寅） 昭和61年生	33才（丑） 昭和60年生	34才（子） 昭和59年生
	36才（戌） 昭和57年生	37才（酉） 昭和56年生	38才（申） 昭和55年生

※年齢は数え年です